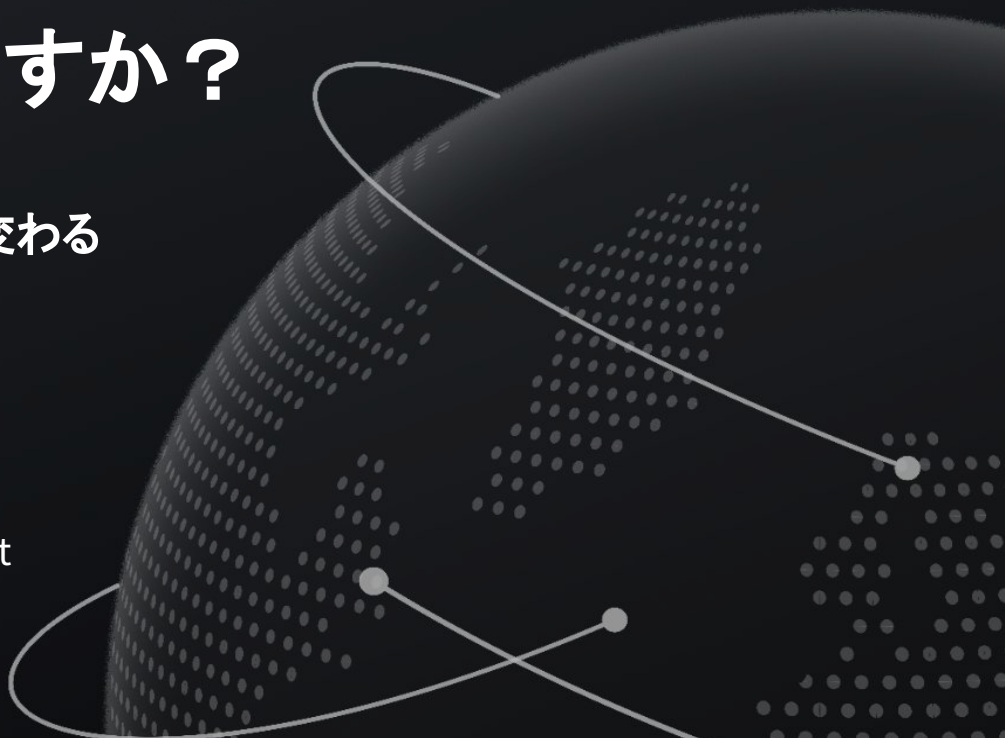


海外送金・決済のコスト、 正確に把握できていますか？

インフラを変えるだけで、コストも可能性も変わる



山本 愛 (Ai Yamamoto) | Business Development



SPEAKER

本日のスピーカー



山本 愛 (Ai Yamamoto)

Business Development , Airwallex Japan株式会社

日本および東南アジアにおけるクロスボーダービジネスの立ち上げ・事業拡大に従事。化粧品・消費財領域において、海外市場への参入戦略、商流設計、パートナー交渉、販売・マーケティング戦略の構築から実行までを一貫してリード。

2026年よりAirwallexに参画。企業のグローバル展開における国際決済・資金管理の最適化を支援し、クロスボーダー取引のコスト構造とオペレーション設計を実務視点からサポート。

2015年メルボルン創業 | 150カ国・20万社が選ぶ越境決済基盤

Airwallex とは

企業のグローバル決済・送金・FXを一台に統合するプラットフォーム

対応国・地域

150+

60+通貨

利用企業数

20万社+

グローバル

年間取扱高

約35兆円+

評価額：US\$80億+

同日着金率

95%

海外送金

MISSION

国境を越えてビジネスを動かす企業のため、グローバル金融インフラを最適化します

Q. 今この場で、即答できますか？

▼ご自分で事業をされている方



海外送金する時の為替や手数料
銀行に表示されているから
それに従うしかない、と思って
そのまま送金していませんか？

比較したことはありますか？

為替レートは銀行・経路によって変わります。
固定費ではありません。

▼経理に任せている方



海外送金の実際の為替と手数料、
どれくらいかかっているか把握して
いますか？
議題に上がったことはありますか？

把握しているのは担当者のみになってませんか？

経営判断に入っていないコストが、積み上がっているかもしれま
せん。

✓ **把握できていないとしたら——その数字は、経営判断に入っていないということ**
実はこのコスト、固定費ではありません。経路と契約次第で、変えられるコストです。

海外送金1件のコストは、3層で積み上がっている

比較しない限り、損失として認識されない構造になっています

FX スプレッド

2～4%

市場レートに上乘せ

- ⚠ 銀行明細に「FXスプレッド」の項目はない
- ⚠ 比較しない限り損失として認識されない

送金手数料

¥4,000 ～ 7,000

銀行に支払う固定費 / 件

- ⚠ 1件は小さく見えるが月10件で年間約40～80万円
- ⚠ 件数が増えるほど比例して積み上がる

中継銀行手数料

USD 15 ～ 50

経由銀行で差し引かれる / 件

- ⚠ SWIFT送金は構造上中継銀行を経由する
- ⚠ 着金前に差し引かれるため見えにくい

 拠点が増えると → このコストセットが掛け算で増える

1法人 / 1拠点

× 1

銀行A

ログイン × 1
照合作業 × 1
レポート × 1



3法人 / 複数通貨

× 3

銀行A・B・C

ログイン × 3
照合作業 × 3
レポート × 3



グローバル / 多拠点

× N

国別の銀行 / 決済代行
ログイン × N
照合作業 × N
レポート × N

見えないコストは、今の事業を蝕むだけでなく 次の可能性も狭めている

今やっていること

- ❌ なんか大変そうだから後回し
- ❌ 今の事業に集中すると言って…
- ❌ いつか整理しようと思いつつ

インフラが、ビジネスの可能性を狭めている



でも、もし ——

- ✅ いつもの画面だけで新市場の口座が開設できる
- ✅ 現地の決済手段にも対応できる
- ✅ オペレーションは何も変わらない

販路が広がっても
管理工数を増やしにくい体制へ

“ 挑戦できる幅が、広がりませんか？ ”

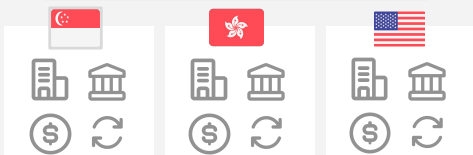
CASE 01 | 複数拠点・複数通貨で生じる"送金コストの積み上がり"

Endowus SG / HK / US

アジア最大級のデジタル資産運用プラットフォーム

Before

3拠点で口座・運用が分散



- ❗ 拠点ごとに現地銀行口座を保有
- ❗ 通貨間の資金移動で手数料 + 為替差
- ❗ 資金管理が分散し可視性が低い

送金手数料・為替コストが
見えないまま積み上がっていく



After

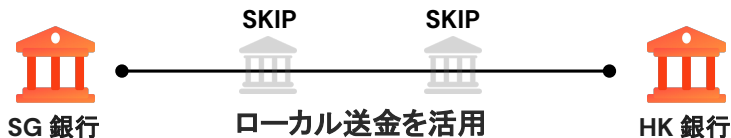
海外取引コストの削減率

最大 **90%**

SWIFT 1件あたりの節約額

200 SGD

✓ 送金フロー改善



既存の銀行口座はそのまま存続。
送金インフラを変えるだけで大幅改善

CASE 02 | 販路拡大で増え続ける "管理負荷"

Slowood



HK発 → アジア / 欧米 / 中東展開

香港発のサステナブル・ライフスタイルECブランド

Before

決済受入口がバラバラ



決済
サービスA



決済
サービスB

- ❗ 現地の主要決済手段がカバーしきれない
- ❗ カート離脱率が高止まり
- ❗ 市場ごとに個別対応が必要

販促費用と工数だけ増えていく



After

消込作業時間の削減率

最大 **90%**

現地決済利用顧客数

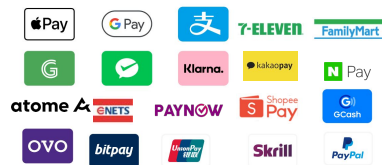
+50%

✔️ ダッシュボードで一元管理



現地通貨でそのまま
受取・着金

✔️ 160+の現地決済手段を一括導入



リピーター顧客数も **+36%**

IMPLICATION ・ 3事例に共通する3つの構造的重複

業種が違っても、ボトルネックは同じ構造に行き着く

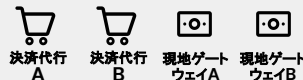
2事例の課題は、すべて「口座・決済受入口・送金フロー」が業者ごと・国ごとに分散していたことに起因

Before ・ 事例に共通する3層の分散

- 1** 口座が拠点・通貨ごとに分散
Endowus：3拠点・複数通貨で口座が散在



- 2** 決済受入口が市場ごとに個別対応
Slowood：市場ごとに決済プロバイダを別契約



- 3** 送金・消込フローが国別に手作業
Endows/Slowood：国ごとに送金・消込フローを構築



複数業者 × 複数契約 × 複数フロー → コスト・工数・可視性のすべてが悪化

統合

After ・ Airwallex 1プラットフォームに集約

既存銀行口座は残したまま

単一プラットフォーム

- 1 マルチカレンシー口座
- 2 Online Payments
- 3 国際送金・カード・消込

1契約・1管理画面・即時～翌営業日で完結

最大 **-90%**

送金・為替コスト削減 (Endowus / Slowood)

+30~50%

決済成功率・現地利用者数 (Slowood / Minor)

US\$7.2M/年

運用統合による年間削減額 (Minor Hotels)

なぜ、Airwallexにできるのか



80+の金融ライセンス

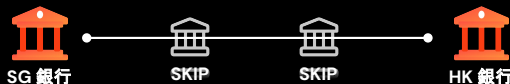


and MORE...

- 11年かけて各国規制当局が認定
- 世界中の金融当局に認められた信頼性
- シンガポール金融管理局(MAS)より許認可取得済み



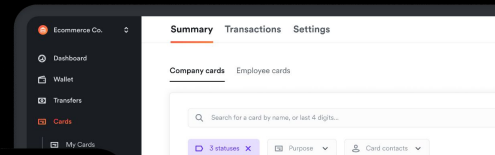
中継銀行をスキップする仕組み



- 現地銀行と同じルートで送金
- 中間コストゼロ、翌営業日着金
- 簡単に真似できない独自インフラ



法人の複雑な資金フローに特化した設計



- 複数拠点 / 複数通貨 / 決済に対応
- 企業の成長を前提に設計されたインフラ
- 事業が拡大しても管理画面は1つのまま

THANK YOU

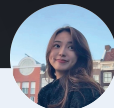
ご清聴ありがとうございました

今日の話で気になった方、ぜひ終わった後に声をかけてください！

CONTACT ・ お問い合わせ

山本 愛 (Ai Yamamoto) | Business Development, Airwallex Japan

ai.yamamoto@airwallex.com



Ai Yamamoto

